



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！アクティブ南関中」

R4南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 19 (文責 永杉尚久)

今年は“一人一人の挑戦が、成長を感じる”年に

新年おめでとうございます。穏やかな年明けになりました。気持ちも新たに令和5年を迎えられたことと思います。

学校にも新たな気分で新しい年に挑む生徒たちが帰ってきました。新年はじめの式で「昨年、みなさんはいろんなことに挑戦し、輝きを見せていました。今年はさらに輝きを増すよう、みんな一人一人の挑戦を中身の濃い、レベルアップしたものにできるようにしましょう。そして成長を感じられるように、みなさんと先生たちが一緒になって取り組みましょう。」と話しました。

今年はウサギ年です。生徒の皆さんが大きく飛躍することを楽しみにしています。

1年生が嬉しい取り組みを行っています。

年明け早々、嬉しい話を。1年生がみんなのために「ちょこっとボランティア」を行っています。ゴミを拾ったり、道具の持ち運びを手伝ったり等、ちょっとした気遣いでみんなの心を和ませる活動のようです。「塵も積もれば山となる」小さな一つ一つの行いが、集まって大きなうねりとなり、南関中がより一層居心地のよい場所に変化していくことを期待しています。私も、できることからちょこっと参加したいと思います。

生徒会始動！！

1月6日(金)まだ冬休み中でしたが、20数名の新しい生徒会の役員が集まって、リーダー研修が開かれました。先生方のアドバイスを受けながら、南関中の課題を見つけ、どのように改善していくかを考えたり、令和5年の生徒会スローガンを考えたりしていました。生徒会は、自治の精神や仕組みを学ぶ大切な活動だと考えています。

リーダーが輝いてこそ南関中全体が輝きます。活躍を期待しています。



今日の論語

子曰く、
「苗にして秀でざる者有り。秀でても実らざる者有り。」と。
先生は言われた、
「苗のうちには立派でも、花が咲かないで終わってしまうものもあるし、花が咲いても実らないものもある。」と。
いくら、素質や能力を持っていてもそれを磨かないことには力は発揮できません。毎日の努力が大切になってきます。「努力に勝る天才はなし」と言いますね。

南関中生の輝き

【熊本地方法務局中学生人権作文コンテスト】

特選 宮崎淳志③ 正川愛咲美②
入選 松井太我③ 佐田妃穂② 城戸心絆①
島田裕矢①

【玉名荒尾中学生新人卓球大会】

優勝 猿渡蓮太郎②

【第47回玉名駅伝大会出場】1/15開催

2区 (3.2km) 川下結音①
4区 (3.5km) 後藤煌稀②
6区 (2.5km) 坂本杏奈②
9区 (3.3km) 松尾 空②
補員 舛永葵② 中村陽彩② 田畑結愛①
※南関町の代表として走ってくれます。健闘を祈ります。(裏面にコース図を載せています。)

今年の行動目標を漢字で表すと！

子どもたちが今年1年どう過ごすか漢字で表現していましたので、私も考えました。私は、「感」を選びました。感性豊かに、感謝の心を持って、感動する1年を過ごせたらいいと思っています。